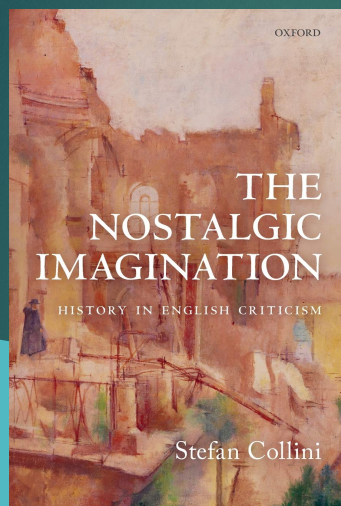


ワークショップ 文学批評の再検討——ステファン・コリーニ 『懐古する想像力』をめぐって

Reconsidering Literary Criticism: Stefan
Collini's *The Nostalgic Imagination*
2021年3月15日（月）午後1時～3時



概要：イギリスの思想史家Stefan Colliniの著作*The Nostalgic Imagination: History in English Criticism* (2019)の邦訳が2020年11月にみすず書房より刊行されました。本書は、モダニズムの詩人・批評家T. S. Eliotから文化思想家Raymond Williamsまで、20世紀前半から半ばにかけてのイギリス文学批評における歴史認識の問題を掘り下げた研究書です。

今回のワークショップでは、訳者の近藤康裕氏をはじめ、18世紀～20世紀の英文学・文学研究の専門家をコメンテーターとしてお招きし、コリーニの問題提起を検討します。一方の文学研究と批評、他方の歴史意識や歴史学との望ましい関係性はどのようなもののでしょうか。過去の批評言説を吟味しつつ、現代の文学批評の課題や可能性まで考察できればと思います。

司会 秦 邦生（東京大学）
講師 近藤康裕（慶應義塾大学）
小川公代（上智大学）
武田将明（東京大学）
田中裕介（青山学院大学）

このワークショップはZoomで開催します。参加ご希望の方は以下のURLからご登録ください。<https://forms.gle/AFHJA6pwuW5dbnG37>
お問い合わせは秦（kshin@g.ecc.u-tokyo.ac.jp）まで。

主催「モダニズム以降のイギリス文学・文化におけるノスタルジアの情動論的・空間論的研究」（基盤研究（C）研究代表者・秦邦生）

科研費
KAKENHI